

## 食はいのち

五霞町長 大谷 隆 照



新年明けましておめでとございます。旧年中は大変お世話になりました。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

さて、年頭にあたって誰もが願うことは、今年一年家族全員が病気をすることもなく無事に過ごせますようにということではないでしょうか。特に60歳を

すぎると、この想いは切なるものがあります。何人が集まれば必ず身体のこと話題になります。

しかし、そうやって自分の身体のことを心配しながら、そのわりには食事のことは無頓着なのではないでしょうか。

薬食同源という言葉があります。最も上等な薬は治療薬でも予防薬でもなく日常の食事であるという考えです。仏教でも食事を作ることも食べることも大事な修行のひとつとして位置づけています。

まさに食はいのちです。私た

ちのいのちは、いのちあるさまざまなものを食すことよって保たれています。ですから、何を食したかによつていのちの質がちがつてくるのは当然だと思います。

食事を生きる上での基本と位置づけた食育基本法が昨年制定されましたが、食事の重要性が公けに認められたということだと思います。

医療費や介護費の上昇をいかに抑えるかということが行政の大きな課題となっています。私は迂遠な道のように思えますが、一人ひとりが食を大事にし、食

の質を高めていくということが最も着実な道だと思いますが、いかがでしょうか。

もうひとつ今年のテーマとして考えなくてはならないことは格差の縮小ということです。特に弱者といわれる高齢者や障害者に対するしよせは社会を不安定にする大きな要因となります。「乏しきを憂えず、等しからざるを憂う」を常に念頭において行政に取り組んでいきたいと思ひます。

する所存でございます。

今後とも、ご支援、ご協力を切にお願ひ申し上げますとともに、皆さま方のご健勝、ご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

## 頌 春

五霞町議会議長 樋下 周一郎



明けましておめでとございます。

町民の皆さまには、常日頃から町政に対してご理解とご協力を賜りまして、深く感謝を申し上げますとともに、町議会を代表して謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

本町においては、経済財政運

営と構造改革に関する基本方針2006により、地方交付税の減少が想定され、歳入面の伸びは見込めない状況であります。

五霞町議会といたしましては、昨今の市町村の取り組み課題として非常勤の特別職における費用弁償等が論議されており、合わせて報酬の削減を実施いたし、引き続き平成19年度も行うものです。また、費用弁償等においても平成17年4月より廃止しました。

地方議会においては、財源確保を優先課題として、合わせて行財政改革を図りながら運営を

進めているところですが、合併した市町村では、議員の在任特例制度等の費用負担増などから、住民団体等による議員定数の削減が強く叫ばれ、大半の市町が定数削減を余儀なくされている現状であります。

当議会においても、当町が今後単独運営を図るためには、町の厳しい行財政運営を真摯に受け止め、議会も一丸となり、議会改革を自ら十分検討し町政に反映していく所存です。

人がきらめくまち五霞を実現するため、将来に向けた豊かな町を残せるよう最大限の努力を

## 謹賀新年

公職選挙法の規定により年賀状などのあいさつ状を出すことは、答礼のための自筆で出す場合を除き禁止されておりますので、ご理解のほどお願ひ申し上げます。

五霞町議会